



今宿小学校 学校だより



令和8年度 10月号 令和8年9月30日発行

校長 小野 公敬

雨が多くて日差しを感じる事が少ない9月でしたが、ようやく湿度も下がってきて涼しさ(少し寒いくらい)を感じられる日々が多くなってきました。日暮れも早く、虫の声に耳を澄ます毎日です。学校では、前期の学習について成績面談が始まりました。学校での前期の学習内容について、お子様がどんな頑張りを見せたのかをお伝えするとともに、後期に向けて伸ばしたい力についてご家庭と共有する大切な機会ととらえています。ご家庭と学校が一体となって子どもたちの学びを支えていけることを願っています。ご家庭でお子さんの頑張りをほめていただくとともに、後期の学習に向け、力となるような声かけをよろしくお願いいたします。

日光に行ってまいりました

修学旅行 思い切り日光を楽しみました。

9月10日、11日で、6年生は日光修学旅行に行ってきました。予報からは雨マークが取れない状況での出発となりました。二日間の日程のなかで夜中から朝方にかけて強い雨が降りましたが、子どもたちが宿を出て見学を始めると雨が小降りになったり、徒歩の移動の際にはほとんど止んで、降っても傘をささないといびっしょりになったりしてしまうようなこともなく見学をすることができました。ある意味天気にも恵まれた修学旅行となりました。(強いて言えば、湯元で10円玉を磨くときに本降りになりかけてちょっとだけ時間を早く切り上げたのと、アイスバスの中で食べたことでしょうか。)

そんな中でも奥日光の自然、特に東照宮の周辺の山の緑が霧雨に煙っている様子を見て「エモい、エモい」と言っていたり、「晴れて汗だらだらで歩くより涼しいこれくらいがいいかも」と見方をかえて捉えなおしていたりする様子はさすが6年生だと感じました。そして歴史的文化財に直接触れた時の目の輝き。三仏堂で、3体の大きな仏像を見上げながら、説明にしたがって静かに手を合わせて20秒弱。心の中で各々願い事をしながらおとずれた静寂の時間。東照宮境内のガイドさんの説明に聞き入る様子、バスの車内のガイドがAIの説明でしたが、出されるクイズに答える様子など世界文化遺産を愉しむ姿勢も素晴らしかったです。それに加えて宿での時間を共に楽しんでいる時の子どもたちの笑顔。買って帰ったおみやげも、選ぶときには時間をたっぷり使って、何度も行ったり来たりしながら、「これは〇〇用で、これは△△用で」と金額と相談しながら、渡す相手のことを考えている様子は見ていて心が温まりました。ある子は自分の分を先に入れてからおうちの人に買おうとして残金が足りず、予定していたものから、残りで買えるものを考える作戦変更を一生懸命考えていました。修学旅行につきものの木刀も多くの子が手に取って迷っていました。決まりの中で自分はどうするか、という体験を短い時間ですが、友達の様子を見ながら、あるいは友達と相談して自分で選んだおみやげは、品物以上に心に残るものになって、ずいぶん後になって修学旅行を思い出すときに心に浮かぶ場面になっているかもしれませんね。どれもこの修学旅行で、6年生の良さと成長を実感した場面でした。

様々な振る舞いにおいて、最上級生の力を見せてくれた6年生でした。

また、保護者の皆様におかれましては、説明会でお願いした準備や体調管理の面でご協力いただきありがとうございました。引き続き、子どもたちのよりよい学びへのご協力をよろしくお願いいたします。

公共の場所を使う時に気を付けること

みんなが使う場所は、だれが使ってもいい場所ですが、どう使ってもいい場所ではありません。みんなが使うからこそ守るべきルールやマナーがあります。だれかに迷惑をかけるような使い方をしていないか注意です。